

## 日本海を越えて到来する UHF・TV 放送波の観測

## Observation of UHF Television Broadcasting Waves over the Japan Sea

# 西谷 昌記 [1]; 深見 哲男 [2]

# Masanori Nishitani[1]; Tetsuo Fukami[2]

[1] 石川高専; [2] 石川高専

[1] Ishikawa-NCT; [2] Ishikawa N. Col. of Tech.

地上波デジタルTV放送は、既存のUHF周波数の470MHzから770MHzの帯域を使用する。石川県において2006年5月に開局する前の2005年5月-7月において、既存のTV・UHF周波数帯の電磁波環境を調査するため、石川高専で固定定常観測を行った。石川高専は、東方は小高い山のふもとにあたり、西方は河北潟を越えて日本海に至る。そしてその遠方は、韓国、日本の山陰地方に至るまで障害物はない。そこで、アンテナを対馬方向に設置し、日本の山陰地方や韓国からUHF・TV放送波が日本海上を伝搬してくることを期待して観測した。その結果、30CHと34CHに非定常なアナログTV放送波を同時に受信した。この電波は1日以上に渡って観測されることもある。本校から日本海を挟んで350km離れた島根県松江市に30CHと34CHを使用している放送局があり、この2つの電波は松江から伝搬しているのではないと思われる。そこで、デジタルTV開局後の2007年5月から、再度定常観測を行っている。ここでは、デジタルTV放送波を含めて日本海から伝搬してくるUHF・TV放送波の年間特性についても報告する予定である。